法心寺　法事・墓参のしおり

宗派：曹洞宗（そうとうしゅう）
本山：永平寺（福井県吉田郡）、總持寺（横浜市鶴見区）
宗旨：坐禅を心の落ち着きどころとして、日常生活をよりよく生きていく。また平和や人権を守るよう努め、先祖を大切にすることを説く。
山号：湖月山（こげつざん）（創建当時、現在の今成から石原方面にかけて一面の湖で、月が湖面に映る姿が由来とされている。）
寺号：法心寺
創立：1504 年頃
御開山：小室院殿月窓法心大居士（こむろいんでんげっそうほうしんだいこじ）
本尊：聖観世音菩薩（しょうかんぜおんぼさつ）

はじめに

「先祖供養として法事を行うのは、この世に生きる者の務めである。」などとは言うものの、実際に法事を行うとなると、日時の設定・親族や寺への連絡・持参物の用意などけっこう神経を使います。法事を行いたい気持ちはあっても、どのような手順で準備すればよいのか、頭を悩ませている方も多いのではないかと思います。今回、そうした煩わしさから少しでも解放され、なるべくスムーズに法事を行うことができるよう、この手引書を作成いたしました。読んでいただければ、法事のおおよそのイメージがわくのではないかと思います。ぜひご活用ください。また読んだうえで、わからないことがあれば、ぜひ法心寺にお聞き下さい。この冊子が縁となり、寺と檀家の皆様とのコミュニケーションが少しでも深まればと思います。墓参についての項目も併せて参考にしていただければ幸いです。

2014 年 7 月

法心寺副住職　植木賢一

法事について

◎年忌法要（ねんきほうよう）とは

故人の亡くなった日を**「命日（めいにち）」**といい、一周忌以降の故人が死亡した月日と同じ月日を**「祥月命日（しょうつきめいにち）」**といいます。

亡くなった翌年の命日を**「一周忌」**といいます。また三回忌以降は死亡した年を含めた数え方となるため、**「三回忌」**は亡くなって二年目にあたります。以後、**「七回忌」**（満 6 年）・**「十三回忌」**（満 12 年）・**「十七回忌」**（満 16 年）・**「二十三回忌」**（満 22 年）・**「二十七回忌」**（満 26 年）・**「三十三回忌」**（満 32 年）となり、それぞれ法事を行います。

もちろん上記以外の祥月命日[正當忌（しょうとうき）といいます]にも法事を行ったり、卒塔婆（そとうば）を建立することも可能ですので、ご検討ください。

※併修について

回忌の近い他の故人と一緒に法事を営むことを**「併修（へいしゅう）」**といいます。その際

は回忌の早いほうに合わせるのが一般的です。
（例）父親の七回忌が 6 月 15 日で、祖母の二十七回忌が 5 月 18 日というような場合、5 月 18 日より以前の都合の良い日に併修法要を行うのが好ましいということです。
※一般的に三十三回忌にて故人を追悼する法事は終了となります。（弔い上げなどといいます。）三十三回忌をもって故人の霊は先祖霊になるといわれているからです。

法事を行う際の準備

①施主は法心寺に連絡を取り、希望日の一か月ほど前には**日時を決定**する。（※先約の可能性があるため、あらかじめ複数の希望日時を決めておくとよい。）

卒塔婆

②参列者に法事の日時を知らせる。参列者と人数を確認し、卒塔婆を建てる方と本数を決める。

③遅くても法事の一週間ほど前までには法心寺に**参列者数**（おおよその人数で良い）を知らせ、**卒塔婆（戒名・建てる人の氏名・本数）**を依頼する。[卒塔婆を建てる方の氏名リストは FAX：049-242-6472　を利用してお知らせいただけるとわかりやすいです。]また**お布施の額**の目安などわからないときは、この時にお聞き下さい。

◎卒塔婆について

卒塔婆料は**一本 5000 円**です[2014 年現在]。卒塔婆料はお布施とは別になりますので、ご了承ください。少なくとも施主名で一本は建てるようにしましょう。卒塔婆は一人の名前で一本建てるのが普通ですが、連名（二人で一本）・「子供一同」「孫一同」「兄弟（兄妹）一同」「姉妹（姉弟）一同」等で建てることも可能です。

※供養席（供養後の食事）を法心寺客殿で行う場合

施主が直接、仕出し屋（料理屋）に連絡を取り、日時・場所（法心寺にて）・人数・料理の種類を伝える。[仕出し屋のパンフレットは法心寺にもございま

すので、お問い合わせください。］ なお原則として陰膳（供養の対象へのお膳）は必要ありません。

◎四十九日忌に納骨（遺骨をお墓にお納めすること）を行う場合 ［四十九日忌に納骨するが一般的ですが、それ以外の日に行ってもかまいません。］

上記の他に

①**石材店**に**納骨日時**を伝える。（納骨は石材店が拝石を動かしカロート[納骨室]に遺骨を納めます。）また、**墓誌**に四十九日忌までに**戒名、氏名、没年月日、享年**（亡くなった年齢）を刻んでもらうよう依頼する。

[主な取扱石材店]◎新穂石材（川越市小室 472-1　℡049-242-6268）

◎山崎石材（川越市今福 585　℡049-243-8678）

②四十九日忌の二週間ほど前までには**仏壇仏具店**に依頼し、白木の位牌（仮位牌）を**本位牌（塗り位牌）**に作り直す。（白木の位牌を持参し、戒名等を伝えること。）

[主な取扱店（川越市）]◎加藤佛壇佛具店（川越市中原町 1-6-2　℡049-222-3650）

◎放光（川越市小仙波 2-20-1　℡049-227-7666）

法事当日にお持ちいただくもの

・**お布施**

・**卒塔婆代**

・**位牌**(いはい)

・**写真[遺影]**（小さなものがある場合）

・**数珠**(じゅず)**（念珠）**

・墓参り用の**線香、ライター**（着火マン）

果物・菓子と花一対（本尊用）

・**果物、菓子**などの**お供え物**（少量でかまいません。）

・**花（本尊お供え用一対、墓地お供え用一対）**

※遠方からお越しの方で、お花を持参するのが困難な場合、数日前までに施主が下記等の花屋に「〇月△日～時に川越市小室の法心寺で法事を行うので、法心寺にお届けください」と注文しておくのが良いでしょう。また同様に数日前までにご連絡いただければ、法心寺から花屋に注文しておくことも可能です。（花の値段は一対 3000 円ほどが標準的です。[多少前後する場合もございます。]）以上の場合、当日に受付で領収書と引き換えにお花代をお支払いください。

[主な取扱店]◎フローリスト花和（川越市六軒町 1-11-1　℡049-222-0917）

◎花鐵(はなてつ)（川越市連雀町 7-1　℡049-222-0679）

◎**納骨を行う場合**は、上記の他に

・**ご遺骨**と**埋葬許可書**（骨壺を入れる木の箱の中に入っています。）

※埋葬許可書を忘れると埋骨することができませんので必ずご持参ください。

白木の位牌

・白木の位牌と本位牌（塗り位牌）[位牌の開眼（かいげん）を行うため]

本位牌

・遺影

法心寺にお着きになったら

法心寺入口

駐車スペース

法心寺本堂

本堂前で合掌一礼しましょう

本堂右手が客殿入口です

客殿の受付

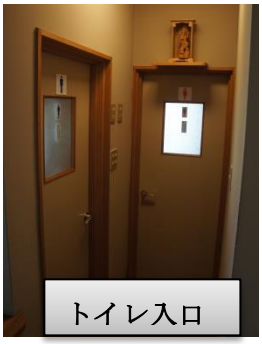
靴入れ

上がったら右側に進みます

客殿（控室）

お茶はご自由に

控室手前の廊下の突き当たりがトイレです


トイレ入口

本堂入口

本堂内

本堂の座席

法事開始 30 分ほど前を目安に、**客殿入口の受付**にて**お布施・塔婆代**を納め、上記の**持参物**をお渡しください。

・**客殿（待合室）**にてお待ちください。お茶はご自由にお飲みください。なお客殿内は禁煙ですのでご了承ください。

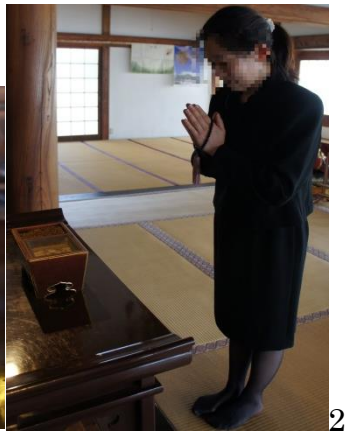
・法事開始時刻（状況により多少前後する場合もございます。）になりましたら、**本堂に移動**し椅子にお座りください。※貴重品等の荷物は必ずお持ちください。携帯電話はマナーモードにするようお願いいたします。

法事が始まりましたら

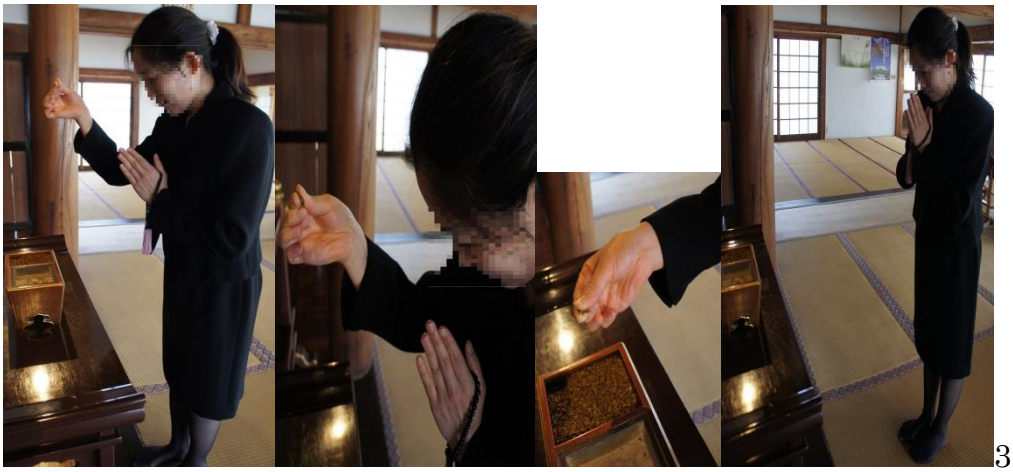
読経（お経を読むこと）の途中で、**ご焼香**していただきます。焼香の合図がございましたら、**数珠**を手にしていただき、施主の方よりお一人ずつなるべく間を空けずに、**正面の焼香台**にお進みいただきます。

◎焼香の仕方

1、席を立ち、**導師に対して合掌一礼**します。



2、正面に進み、焼香していただきます。まず**本尊様と供養の対象に合掌し一礼**します。

 3、**抹香をつまみ、額に捧げ**てから**香炉に入れます**（多くても２回、あるいは丁寧に１回していただければ結構です)。終わったら**再び本尊様と供養の対象に合掌し一礼**します。

4、最後に**導師（どうし）に対して合掌（がっしょう）一礼**します。終わったらご自分の席にお戻りください。

本堂での読経が終わったら

卒塔婆・墓用のお花・線香・ライター（着火マン）を持って**墓参り**となります。（荷物を本堂にお忘れにならないよう、お気を付けください。）

※一周忌以降は墓所での読経はございませんので、各自墓参をしていただきます。

※客殿で後席（供養席）がある場合、墓参の後、会食となります。

◎**納骨がある場合**

・墓所に上記以外に**遺骨・本位牌（塗り位牌）・遺影（写真）**をご持参ください。

※白木の位牌は、法心寺にてお預かりいたしますので墓所に持っていく必要はありません。

・僧侶が墓所に到着するまでに、**手桶（水を入れておく）・柄杓**（ひしゃく）を用意し、墓の花立ての水を入れかえ、**花を供え**ておいてください。

・**僧侶が墓所に到着**しましたら、石材店の職人の方が拝石を動かし**骨壺を納めます**。

・納め終わったら、**読経を開始**しますので、線香に点火してください。

・読経中、**施主の方より順次、線香**を捧げてください。

墓石・墓参りについて

◎墓石について

・新しくお墓を建立したときは、墓所にて**開眼供養**（魂を入れる供養です）を行います。　※お布施（供養料）が必要となりますので、ご了承ください。

・法心寺境内墓地の改修工事（リフォーム）の際は、石材店だけでなく、その旨（墓地に工事が入るということ）を法心寺にもお伝えいただくようお願いします。

・墓石、外柵（がいさく）等の損壊が激しく、周囲の墓地や通行人に危害が及ぶ可能性がある場合、施主に連絡させていただく場合がございますので、ご了承ください。

◎お墓参りの作法[墓掃除を含む]について

※用意するもの[一例]

・手桶、ひしゃく（墓地にあるものを利用できます。）・花・線香・ライター（着火マン）

・バケツ・ぞうきん・たわし（墓石によっては傷がつく場合もありますので、お気を付けください）・剪定ばさみ・ゴミ袋・ビニール手袋・ほうき・ちりとり・歯ブラシ・墓石用洗剤（石材店やホームセンターで購入可能）

①本堂の本尊様に合掌礼拝する。

②手桶（バケツ）に水をくみ、墓所に向かう。

③[墓の掃除]枯れた花、線香の燃えかすを片付け、花立の水を換える。雑草を抜き、植木の剪定などを行う。墓石の汚れはぞうきん・たわしで洗い落とす。墓石・墓誌に刻まれた文字の部分をきれいにするときは、歯ブラシを使うとよい。

④[お参りをする]・花をお供えする。　・線香に火をつけ、お供えする。
・手桶からひしゃくで水をすくい、墓石の上からやさしく掛ける。
・墓石の正面で合掌礼拝する。

⑤[後片付け]ゴミはゴミ袋に入れ、墓地のゴミ箱に捨てましょう。

※墓所に菓子・果物・飲み物などを供えたままにしておくと、カラスや猫などの餌になり、墓石汚れの原因となりますので、供えた場合は忘れずに持ち帰りましょう。

その他の注意事項

・毎年、春彼岸期間（3 月）または施食会（せじきえ）受付期間（7 月）に護寺会費（年会費）6000 円[※2014 年現在。金額は今後変更になる場合もございます。]を納入していただいております。お忘れなきようお願いします。
※数年間、護寺会費を滞納すると強制的に離壇、墓石の撤去の処置がとられる場合がございますので、ご注意ください。

・施食会受付に関しては、毎年 7 月上旬頃、概要と申込書を送付しております。

法心寺

住所：埼玉県川越市小室 495

電話：049-242-6265

FAX：049-242-6472

周辺地図

（Google Map より）